

旧第4通学区「高校の将来像を考える地域の協議会」第2回会議 議事録

- I 日 時 令和2年2月19日(水) 14:00~15:30
II 会 場 長野市 教育センター3階 会議室
III 出席者 協議会委員14名
IV 意見交換テーマ 旧第4通学区の現状と課題、学びの改革の方向性について
V 議 事

1 旧第4通学区の現状と課題について → 県教委 回答

【質問・意見】

- ・子どもの数が少なくなってくる。県教委としては、少なることに対して、きめ細かい指導をするのか。それとも学校数を減らす方向なのか。
→ 中山間地については、学びの場を保証したい。都市部においては、規模を生かす方向で考えている。きめ細やかにやるところはきめ細やかに、都市部等では大規模のメリットを生かしてと考える。

2 学びの改革の方向性について(質問・意見) ⇒ 県教委 回答

【質問・意見】

- ・子供たちの学びを最優先に考えた場合は、やはり再編は必要である。
- ・学びの改革であるので、子供たちの探究活動をしていくことは重要であり、それを念頭に、子供たちの学習環境を整えてほしい。
- ・総合技術高校とはなにか。総合学科とはなにか。
→ 実施方針にP10に記載
- ・小規模校、大規模校の定義は。中山間地存立校とはなにか。
→ 実施方針P60~に記載
- ・募集定員と中学卒業生数の比 3区は、募集定員2,810人で卒業生との比率1.09。4区は、0.78。出ていくのが当たり前。定員が少ないから出ていく。このアンバランスをどう考えるか。高校と人口規模でも同様。人口比に対しても3区募集定員2810人に対する地域の人口262,000人。1.07。4区は、2460人で地域の人口208000人。0.7。この点から考えてもバランスが悪い。高校再編をする際に、生徒の利便性・安全性、地域の特性を考えないと地域ごとにバラバラになる。遠くまで通わざるを得ない人もでてくる。県民にとって不利益になる。
- ・多様な人材を企業も求めている。高校教育でもそのような人材を育てることを考えないといけない。学びたい人の個性、才能を生かすようにしてほしい。
- ・実施要項(第四区)に多部制・単位制高校の記述が入っていない。検討も必要ないということか。
→ ・募集定員については意見としてお聞きしておきたい。
 - ・多様な学び これから協議会で、議論していただきたい。
 - ・多部制・単位制 「北信地区に」ということで、記載されている。
- ・流出・流入は、定員を操作することによって変わる。生徒も保護者も行きやすいところに行くだけ。流出・流入を問題にするより、もっと大切なことを議論するべきである。
- ・総合学科、総合技術高校、多部制・単位制のメリット・デメリットを示してほしい。
- ・今の生徒・保護者がどういう学校を必要としているかがでてこない。発達障がい、外国籍の子

どもたちの進路が限られている。

- ・多様な子どもたちがいる。多様な学習の場所・学校が必要ではないか。小規模な学校でも手厚くすることが重要。小規模な高校も存続させて多様な学びの場を。それが地域を支える人材の育成につながる。
- ・人間関係づくりが難しい。大規模、小規模でそれぞれ課題がある。人間性をどう育んでいくかということが大切。県教委の方向性はよいと考える。
 - 総合学科高校等については、次回資料を揃えることはできる。どの高校でも満足度は高い。課題成果は当然ある。
 - 発達障がい等の生徒についても、各学校でS SW等を利用するなど、以前より支援が厚くなってきている。
- ・方針に「長野市南部、千曲市において・・・学校規模が縮小・・・」という記述があるが、いつごろそのような状況になるのか。
 - 時期を明確にすることはできないが、このままでは確実に小規模化する。
- ・今後、私立高校は、定員が減らないことも予想される。予想より早く公立高校の小規模化が進むと考えられる。協議会で方向性を出しながら、他の地域も併せて県には方向性を示してほしい。

- ・小規模のまま、進むことになにか問題か。
 - 小規模になると、選択科目に限りが出るなど環境面である程度規模は必要になる。
- ・中学生はなかなか進路が考えられない。親としては、経済的な理由もあり、より近い高校に行かせたいが、選択肢は幅が広い方がいい。総合学科高校や総合技術高校の設置も必要かと考える。
- ・子供や保護者の意見を吸い上げてほしい。
 - 協議会で決めていただき提案していただければよいと考える。
- ・P61の基準について生徒が、在学する生徒が少なくなると募集停止ということか。
 - 存続していくというのは、ある程度の規模はやはり必要かと考える。
- ・小規模校のデメリットを補う技術がでてきている。それができれば大規模校より小規模校の方がメリットが大きいのではないか。
- ・再編基準が、出ている。基準があるからではなく、めやすとしていただき、もう少し柔軟に考えていただきたい。
- ・公立高校で特色を出していくこと、カリキュラムや人事、単位認定、卒業認定等について、どの程度自由度があるのか。
 - それぞれ一定の制約はある。

【座長】

- ・今回の議論を踏まえ、より具体的な提案を事務局にしていきたい。
- ・総合学科等の特徴、地域の特徴等を次回ご提案いただきたいと考える。

【福田副座長】

- ・総合技術高校等について、メリット・デメリットでなく、「どのような特徴があるのか。」「どういう子どもたちを育てたいか。」「どういう子供たちに向いているのか」を示してほしい。

- ・登下校の保障等、学校だけでできないことを、他の機関がどう支援していけばいいか。
- ・教育の質の向上という点で、地元の企業や行政の方々の支援が必要である。